



## － 新生二之江中学校 「厳しさを乗り越え進めその先へ」－

校長 茅原 直樹

「三寒四温」とは、本来2月から3月ごろの陽気のことを指すようですが、今年は、2月と3月が逆になったような感じで、この言葉も今年に限って言えば、3月から4月のちょうどこの春休みの陽気を指す言葉のようでした。いや、それ以上に、日ごとの寒暖差は著しく、一晩で春から冬どころか、夏から冬に逆戻りするような日もありました。それでも桜の花は、始業式、入学式に合わせたかのように満開を迎え、本校の令和6年度がスタートしました。今年度もどうぞよろしくお祈りします。

まず、今年度の本校の目標ですが、引き続き、「いま ここ」の校訓の下、「日本一生徒を大切にする中学校」を目指すこととさせていただきます。一日も早く「目指す」を取ってもよいと地域の皆さまから認めていただけるよう、教職員、スタッフ一同全力を尽くしてまいります。この目標は、もちろん教職員の目標です。ですから、生徒の皆さんには、「日本一仲間を大切にする中学校」を創ってほしいと1学期の始業式の式辞の中でもお話ししました。

さて、令和6年度は、本校にとって大きな変化の年となりました。それは、養護教諭や委託スタッフを含めると16名がチーム「二之江中」の新たなメンバーとして加わってくれたからです。まさに「新生」にふさわしいスタートとなりました。もう一度、全員で原点に立ち返って「4人グループ・コの字型机配置」授業スタイルを基本から学び直し、主体的な学びを確立させたいと考えています。



「厳しさを乗り越え進めその先へ」は、令和元（2019）年度3学期生徒標語コンクールの最優秀作品です。当時の卒業間近の3年生がコロナ禍の状況を意識して作ってくれたもので、令和2年度にも本校のスローガンにしたものですが、今の本校の状況にも当てはまりますので、今年度、もう一度この標語をスローガンとして掲げたいと思います。

新たに本校に加わってくれた教職員の顔ぶれを見ますと、昨年度末に本校を巣立っていかれた教職員に勝るとも劣らない熱意と力をもった方々が集まってくれました。

この1年、新たに加わっていただいた新入生、転入生、そしてその保護者の皆様とともに、その持つ力のすべてを発揮して、チーム「新生二之江中」をさらによりよい学校にしていきたいと思います。

今年度1年間、生徒、保護者、地域の皆様とともに、教職員・スタッフ一同、「いま ここ」の校訓の下、前進していきますので、御理解、御協力のほどを重ねてお願い申し上げます。

□よろしくお祈りします！（転入者等紹介、教科順）（主幹…主幹教諭 主任…主任教諭）

※ 個人情報のため、掲載を差し支えさせていただきます。ご理解の程よろしくお祈りいたします。